



<input type="checkbox"/> 校訓	正しく かしこく たくましく
<input type="checkbox"/> 学校教育目標	一人一人が「正しく かしこく たくましく」生き抜く学校の創造 ～がんばろう 生保内～

1

2Aで英語の研究授業が行われました。



2日に南教育事務所雄勝出張所 指導主事をお迎えして、2Aで英語の研究授業を行いました。「比較の表現を使って、仙北市や秋田県について説明しよう」というめあてのもと、英語を学習しました。本校は、台湾の北投中と交流をしていますが、11月に2年生3人も台湾に行き、北投中の生徒と実際に交流してきました。今回の英語の単元では、その交流を生かして、北投中の生徒に向けて、仙北市のよさを紹介することになっています。最初からオールイングリッシュでリズムよく授業が進んでいきました。途中、比較級や最上級を使いながら、台湾の中学生に仙北市のよさを伝え

ようと一生懸命考え、話しているのが印象的でした。指導主事からは、「リピートの大切さ」「単元を通して、目指す資質・能力を身に付けていく」などの英語科の専門的なことについての指導や「生徒指導の実践上の4つの視点を生かした授業構想、学級経営をしてほしい」という助言もありました。今後、この指導を生かすためにも、思考力・判断力・表現力の育成に努めるとともに、自分でしっかり考え、判断できる力を育成していかなければいけないことも全職員で確認しました。2年生のみなさん、素晴らしい授業、ありがとうございました。

3年生スペシャル給食 いただきました。

16日に3年生がスペシャル給食をいただきました。仙北市では、小6と中3生に卒業記念も込めて、思い出に残る給食を提供しています。今回は、予定の給食メニューからあげやたこやき、ケーキなど、スペシャルなメニューが付け加えられました。3年生は、とてもおいしくいただくとともに、大満足していました。また、栄養教諭の先生から、栄養指導もあり、受験勉強時に必要な食事の取り方から、体に必要な栄養素についても教えていただきました。千田先生は、3年生が小学校低学年のときから知り、もう卒業していくのかということと、3年生から「おいしい給食ありがとう」という冊子をいただき、とても感激していました。3年生のみなさん、給食を食べられるのも残りわずかです。おいしくいただきましょう。



認知症サポーター養成講座を 2年生が受けました。

16日に2年生が仙北市包括支援センター主催の認知症サポーター養成講座を受けました。



認知症とはどのようなことなのか、認知症の方への接し方はどうすればよいのか、実演していただきながら、楽しく学ぶことができました。2年生も多くの人が祖父・祖母と暮らしています。祖父・祖母または、曾祖父・曾祖母への接し方やいたわりの気持ちが養われればうれしいですね。包括支援センターのみなさん、ありがとうございました。

うれしい話

包括支援センターキャラバン隊小松さんから、かえる公園で作業をしていると、中学生が「こんにちは、お疲れ様です。」と声を掛けてくれたそうです。うれしく、心がほっこりしました。